16 TAKURO SHINOHARA

写真提供：佐藤正勝カメラマンさん

M.SLASH
M's Auto Mobile Service
PLATZ
3P Racing Print Techniques
StarFive Motor Racing Store
MAKE WINNER
AOBA Driving School
PROTEX
R'S DESIGN

オートポリス

MediaDoKageyamaRacing

参加台数 31台

5月18日　DUNLOPF4トレーニング3本
5月19日　OTG F4トレーニング2本
5月20日　予選(30分間)1stタイム：8位　2ndタイム：21位
第1戦決勝(15LAPS)：6位
5月21日　第2戦決勝(15LAPS)：14位

～木曜日～　　ドライ　　9位・13位・9位

2年ぶりの走行でしたので、1本目はラインやブレーキポイントの確認などを行い、その後アタックに入りました。そこからセッティング変更を行なっていきました。エンジニアさんやアドバイザーさんと話し合いセッティング変更した後2本目の走行をしましたが、周りがNewタイヤを入れる中でのタイムでした。
3本目は僕もNewタイヤを履き、アタックしましたが、Newタイヤでの走行で得られるものがとても大きかったです。
今回からタイヤのロットが変わり、更にグリップは上がりましたが、オートポリスではアタック1.2周目にタイムが出た後はガソリンが軽くなってもタイムはあがりません。2本目にNEWタイヤを履き特性を知っている人達はセッション途中（赤旗中断中など）にNewタイヤに履き替えてアタックをしていました。
明日は45分の走行が2本なので、また僕も最初はユーズドで走行し、ガソリンが軽くなった途中からNewタイヤに履き替えようと思います。
またセッティングに関しても富士戦からエンジニアさんやアドバイザーさんのお陰で考えられる幅が広がりました。今回も相談させて頂きながら考えています。

～金曜日～　　ドライ　　5位・9位

昨日のトレーニング走行で今回からのタイヤの特性を理解したので、本日は昨日の反省を活かしてアタックしました。
今回のオートポリスではセッション中の赤旗も多く、その中でNEWタイヤを入れるタイミングや、またサーキットの特性により前車との距離が近いとダウンフォースが抜けてしまうためにアタック前の位置取りなどが、とても重要になってくるサーキットだと感じました。
NEWタイヤでのアタック後は、タイムの出るピークが1.2周ということもあり、その後決勝のセッティングの事も考えて入念に走行しました。
本日もエンジニアさんとアドバイザーさんにご相談させて頂き、セットの良い方向、行き過ぎてしまった方向、沢山のことを試すことが出来ました。
予選のセットも決める事が出来ました。
今回の予選は今までの予選と違い、とにかくアタック1.2周目が本当に重要です。
30分の予選の中で沢山のパターンが考えられまずか、一晩きちんと考えて明日決めきれるようにします。

～予選～　　ドライ

今回の予選はとにかく単独で1、2周アタックすること。その事を心がけて予選へ向かいましたが、1番タイヤの良いところで場所取りを決めきる事が出来ませんでした。アタックする際に目の前でのスピンや2度の赤旗と流れがどんどん悪くなってしまいましたが、最後に何とかワンアタックする事が出来ました。
マシンフィーリングもレースウィークの中で1番良く、良いタイムが出せる自信を持っていたので非常に悔しく残念です。今まで予選で8位という順位はよくとってしまいましたが、今回の8位は悔しさが違います。とにかく進むのみです。何とかラスト2周でアタック出来ましたが、タイヤのピークも過ぎており、ラストの周はガス欠症状が出てしまい、本当に悔しいです。そのためにセカンドベストがこの様な順位になってしまいました。僕の位置取りや流れの悪さにより台無しにしてしまいました。申し訳ございません。

予選結果：　第1戦スタート8位
第2戦スタート21位

第5戦 ドライ

スタート後の1コーナーの位置も良く、順位を上げる事が出来ました。
その後は膠着状態がずっと続き、順位を上げる事が出来ませんでした。もう一つ前にいきたかったです。
オートポリスはバトルをしにくいサーキットという事もありますが、富士の時と比べてきちんと前だけを見て走れました。明日は21位スタートと非常に厳しいですが、その中でも順位を着実にあげてこれるようにします。

決勝結果：8位→6位

第6戦 ドライ

昨日行われた予選で2発目のきちんとしたアタックをすることが出来ず、この様な順位からスタートになってしまいました。
今回のオートポリスは非常にパッシングの難しいサーキットですので、そのコースで大幅に順位を上げる事が出来ればこれからの自分の引き出しや自信になると考えていました。
実際にスタートから順位を上げることは出来ましたが、ポイント獲得には届きませんでした。
しかし、どの順位でスタートしても前半の強さは身についてきたと思います。これからはもちろんもっとレースで強くなること、またとにかく予選です。
どの様な状況でも絶対に2発タイムを出せる様にならなければなりません。
次戦SUGOまで少し期間が空くので、きちんと課題の部分をしっかり考えて臨みます。
決勝結果：21位→14位

～まとめ～

オートポリスラウンドは予選がより重要となるレースでした。前戦富士スピードウェイの様な広くスリップストリームを使うコースでは予選が少しずつ出来るようになってきましたが、今回のような単独でしっかりタイムを出さなければならないコースでの位置取りをもっと上手く決める必要があります。
次戦SUGOでもきっと今回の様なレースになる事が予想されます。そのため次戦は今回の反省をしっかり活かし、勝つために少しでも自分に物事が有利に働かせ、とにかく自分が決めきるのみです。
今回感じた良い事は、前戦富士ラウンド時からクルマのセッティングの知識も増えてエンジニアさんともより深い話を出来るようになりました。そのために予選時にはレースウィークの中でクルマが1番良い状態に持ってくる事が出来ています。
次戦はクルマを良い状況に持ってくる事、そして何よりも自分がしっかりと予選を行い流れを掴む事を考えてレースウィークの臨みます。
いつも応援・サポートして下さりありがとうございます。また次戦も宜しくお願い致します。

篠原拓朗

写真提供：佐藤正勝カメラマンさん

M.SLASH
M's Auto Mobile Service
PLATZ
3P
StarFive Motor Racing Store
MAKE WINNER
AOBA Driving School
PROTEX
R'S DESIGN